

“MIRAGE” Work Shop in CAPE MAY

フィラデルフィアからレンタカーで高速道路を南下する事2時間余り。
今回のワークショップが開かれるニュージャージーの岬の最南端の街ケープメイ。
サニベルとはまた別のタイプのこちらにも歴史ある海沿いのおしゃれなリゾート地。
都会的な便利さも兼ね備えた生活しやすそうな素敵な街です。
有名な渡り鳥の飛来地でもあり、シーズンには人口が何十倍にも膨れ上がります・

貝殻の豊富なその土地に暮らす、セーラーズバレンタイン用の貝を扱うディーラーさんご夫婦のセカンドハウスが会場です。

いつも、はつえ先生の大会エントリーの作品に使われる貝の大半は、こちらのご夫婦と打ち合わせて準備されます。貝殻のスペシャリストであり先生の良き理解者、相談相手でもあります。今後は協会の活動にも少なからず関わって下さいませ。

そんなお2人のご厚意により、私たちも生徒さんと一緒に寝食共に3日間お世話に成りました。
また、今回のワークショップの現地側の全てのセッティングをして頂きました。ランチには奥様が、鈴木の大好物の「ニューイングランドクラムチャウダー」を鍋一杯作ってくれました。美味いっ！

今回は皆さんからの強いご要望に応える形で、アメリカには無い鏡張りタイプ、注目度 NO1 の「MIRAGE」のワークショップを開催することに成りました。

11月から銀座で開催される予定の、おとな塾の講座用に準備されてきた簡易タイプの「MIRAGE」のメニューが日本国内に先立ち初披露です。日本の皆さんもお楽しみに！

生徒さんと言っても、ニューヨークやボストンからはるばるお見えになるだけに、みなさんマイツール持参の熟練者ばかり、指導に当たる先生も今回ばかりは緊張のご様子でした。

開始当初はピンと張りつめた空気の中、短い時間で貪欲に技術を習得されたい生徒さんの英語攻めに、臆することなく得意の「全身英会話」で返し、講義指導するはつえ先生と皆さんの英会話バトルの様相でした。

しかしそこは海を越えても数時間もすれば、日本の教室と何ら変わらない貝殻がつなぐ、セーラーズバレンタインが中心のいつもの「はつえワールド」に早変わり。

たぶん完全には言葉の理解が成り立ってはいないはずのコミュニケーションとは思えない、パーティーさながらの盛り上がり。

ほとんど会話内容を聞き取れてない鈴木ですら自然に溶け込んでいける不思議な空気でした。

いつもの通りの一切手抜き無しの徹底指導に、どの作品も完成度が驚くほど高く、みなさん大満足のご様子でした。(夜には先生も疲れ果てたご様子で… z z z)

勿論、再度のワークショップの熱望に、もっと何日も掛けてのじっくりワークショップの企画を約束するに至りました。

きっと、はつえ先生の事だから、たぶん出来れば今度は日本の生徒さんと一緒に、数日ホームステイしながらの、「日米交流 Work Shop in CAPE MAY」なんて構想を思い巡らしているのでしょうか？

NY からボストン、フィラデルフィアからケープメイなんてセーラーズバレンタインツアーは如何でしょうか？

終わってみれば、とても充実した 2 日間の講座でした。

とにかく、はつえ先生お疲れ様でした。

ところで、

流石は本場のみなさん、セーラーズバレンタインのコレクターで有り制作者なので、私たちの知らない道具やグルーをいろいろお持ちです。

勿論ディーラーご夫婦は貝殻のスペシャリスト、先生ですら見たこともない貝殻や魚の鱗までいろいろ披露してくださりそちらも皆さん大変にお勉強に成りました。

(先生はじめ、皆さん大量に貝殻を購入されていたことは言うまでもありません。)

しかし何より、今回の当協会のオリジナル、日本人木工家作の **MIRAGE** フレームの品質の高さ、仕上がりの美しさには大変感心されたご様子で、講習後に協会へ幾つもの制作ご注文を頂きました。

来春のサニベル大会にて再会した際にお渡しするお約束を致しました。

「セーラーズバレンタインのフレームは日本製が一番！」なんて言われる日が近々来ると、改めて確信いたしました。

.....

おまけ

余談ですが…鈴木が講習後に作業が残っている生徒さんのお手伝いをしていたところ、私の手におもむろに折りたたんだリンカーンの \$ 5 紙幣が 2 枚滑り込んできました。

意味が分からずしばし困惑、あ！これってもしかしてチップなの??

NONONO~! と丁重にお断りしても一向に受け取ってもらえません。

それって常識なのかどうなのか？ 初めてチップをもらう立場に成って、大変複雑な心境でした。

恵まれてしまったようで、結構カルチャーショック~!

先生には黙ってようかな？